

OS交配

●ハウス・露地——2~8月(暖地9月)まき

貴婦人ニュータイプ

照り輝く美麗果、果肉厚く、シャリッとした歯切れで食味最高。
小葉、太茎、短側枝、雌花近成り性、丈夫で作り易く極めて多収。
中長、整型、尻太り、曲りなく全期秀品率抜群。



株式
会社

埼玉原種育成会

OS交配 貴婦人ニュータイプ

特性と栽培ポイント

際立つテリと濃さ、安定した果形と秀品率。

キリッとした草姿そのままに1節2本成り性の多雌花・多収性。果長を貴婦人よりも1.5cm長くしました。

特性

- 2～8月（暖地では9月まきも可）にまくハウス・露地栽培に最適。
- 果は全体が極立つ濃緑色で常にテリが良く極めて美麗果でどんな条件でもシモフリ、条線、ブルームが出ずに褪色はしない。果長21cm～22cm位、首～尻までまとまり良く、安定果形、尻太り極少で秀品率は断然トップで秀品収量が極多い。
- 果肉厚く、シャリシャリと歯切れ良く、甘味ある食味でおいしく、品質品位は最高級。
- 雌花は夏まきで近成り、各節2本成り性の多雌花となり果

実肥大性の強い早生種で早くから末期まで超多収となる。

- 葉は先とがりの黒光りする濃緑小葉、葉柄短かく、鋭く、常に上向きで込みすぎず、受光良く、葉の光合成能力抜群。
- 側枝発生力は中位。茎太く、短節間となり間断なく生育し、常に若々しく良果多収となる有効側枝となり、誘引、摘芯の省力にもなる。
- 前述の葉、茎、雌花着性、草姿、草勢により夏の暑さ、9月の長雨、冬の寒さに耐え多収となりながら、ベト、ウドンコ、斑点細菌病にも強く、多収性、良質性、省力性、耐候性をそなえた画期的な品種である。

ハウス抑制栽培の基本

汚れたビニールでは夏期でも光線不足となり軟弱徒長しやすいのでビニール洗い、充分な換気、ウイルス、黄化病を媒介する有翅アブラ虫や温室コナジラミの飛来を防ぐため寒冷紗の被覆、3.3㎡当り、5本以内の粗植、秋以降も株元まで光の当るように160cm以内の主枝摘芯、元肥で草勢強く、追肥でその維持を図るため良質元肥施用、少量多回数追肥がよい。これらが品種を越えた良質、多収のコツである。

1) 栽植本数

1株当り30枚の主・側枝葉が展開しても込みすぎない位の植付本数が良く、通常3.3㎡当り4.5～5株が良い。

2) 育苗

鉢育苗では床土はリン酸を含む腐蝕の多い良質床土、活着後は鉢間隔を広く、乾燥害の出ない程度に水を挽えた押えた苗作で、20日前後の育苗日数等に留意して根付きの良い苗作りをする。接木はウルトラ南瓜が良い。

3) 施肥—元肥、追肥

生育スピードの早い作型であり、生育の初期～盛期のバランスの良い肥効が収穫盛期～末期の草勢に大きく影響するので10a当りN成分で20kgを限度として、N、P、K、を過不足なく施用する。追肥は生育盛期から少量ずつ多回数に施して肥やけや肥料不足のないようにする。

4) 灌水

定植後は活着を早めるため本葉4～5枚位までは土中、空中とも多湿を保つと良い。活着後は徒長を抑えるため140cm位の草丈（15～16節）迄はやや乾かし気味に管理し、以降は茎太く親づるや力強い側枝発生を促すため、追肥をかねて少量、多回数に施す。

5) 整枝・摘葉

小葉・徒長しにくい品種であるが生育の早い作型であるので下位の込みすぎをなくするため下位3～4節の側枝の早目摘除、4～5節目から1節摘芯。孫枝はより短節間で雌花率も高まるので伸長具合、込み具合により2～3節摘芯～半放任とする。摘葉は収穫盛期を過ぎる頃から古い日陰葉や込みすぎた部位を1回当り1～2枚を限度として除くと良いが常に全体に亘り収穫果が見えかくれする程度に整える。

台木の最適品種は、ブルームレス一輝1号南瓜
ワイドパワー王金ウルトラ南瓜



省力と高品質時代をリードする

株式会社 埼玉原種育成会

本社／埼玉県南埼玉郡菖蒲町新堀2616
☎菖蒲0480(85)0854代 〒346-01